

令和5年度 公共事業 再評価 対象事業一覧表

(経済産業部所管事業)

単位(事業費)：百万円

番号	事業主体	事業名	(ふりがな) 箇所名	関係市町	事業概要			再評価理由	前回評価時点からの事業進捗			※1 変更理由等 (全体事業費) (計画期間)	※2 評価の視点		対応方針(案)及び理由		特記事項	担当課			
					評価時期	計画期間	全体事業費		事業費	進捗率	事業の投資効果		事業の必要性	進捗の見込み	対応方針(案)	理由					
						上段：前回又は着手時	上段：前回又は着手時												上段：当初または前回	上段：当初または前回	上段：当初または前回
						下段：今回	下段：今回												下段：今回	下段：今回	下段：今回
1	静岡県	生産基盤整備事業 (畑地帯総合整備事業)	にしゅうら 西浦みかん東部	沼津市	H25 (当初)	H25～R4	2,665	事業採択 (H25)後 10年が経過	-	-	B/C：1.6	◎	◎	継続	・本事業により、通作や輸送の利便性が大幅に高まり、営農の効率化が図られている。また、用水路工の整備が進むことで、防除作業の効率化が図られる。受益者からは、「整備効果が出ている」等の事業推進に期待する前向きな意見が多数出ており、今後の事業進捗が見込まれるため、事業を継続する。	国 50% 県 30% 地元20%	農地整備課				
R5 (今回)	H25～R11 (+77.8%、7年延 伸)	4,400 (+65.1%、1,735 増)	2,711	61.6%	B/C：1.3 EIRR：6.9%																
2	静岡県	農村整備事業(集落 基盤整備事業)	あさぎりこうげん 朝霧高原	富士宮市	H25 (当初)	H25～R2	1,346	事業採択 (H25)後 10年が経過	-	-	B/C：2.2	◎	◎	継続	・本事業は、農業生産基盤と農村生活環境を一体的に行うことで地域活性化を図るためのものであり、近年、農業の担い手不足や高齢化等により、必要性は一層高まっている。事業を通じ農業振興と地域振興が図られ、また投資効果も十分に見込め、事業継続への地元の意向も高く、今後の進捗も見込めることから、事業を継続する。	国 50% 県 25% 地元25%	農地保全課				
R5 (今回)	H25～R7 (+71.4%、5年延 伸)	2,185 (+62.3%、839増)	1,811	82.9%	B/C：2.0 EIRR：17.4%																
3	静岡県	農地保全事業(農地 防災事業)	かみさわがわなんぶ 柿沢川南部	伊豆の国 市	H25 (当初)	H25～H29	909	事業採択 (H25)後 10年が経過	-	-	B/C：1.0	◎	◎	継続	・排水路工、排水機場工の整備により、受益内の湛水被害が低減されており、地域からも早期完成を望む声が上がっている。また、営農者の営農意欲が高まり、営農の継続、新規就農者の増、高収益作物(いちご、トマト)の作付け等が図られている。 ・本事業により、湛水被害が軽減されることで安定した農業経営が図られることから、事業を継続する。	国 55% 県 30% 地元15%	農地保全課				
R5 (今回)	H25～R9 (+250%、10年延 伸)	1,637 (+80.1%、728増)	930	56.8%	B/C：1.6 EIRR：10.2%																
4	静岡県	農地保全事業(農地 防災事業)	よねづはいすいろ 米津排水路	浜松市	H25 (当初)	H25～R2	1,039	事業採択 (H25)後 10年が経過	-	-	B/C：1.2	◎	◎	継続	・地域住民からは、令和4年の台風15号の際に、先行して改修した屋島川での効果を実感しており、未整備区間が残る米津排水路の早期完成を望む声が上がっている。 ・本事業により湛水被害が軽減されることで安定した農業経営が図られるとともに、生活環境の安全性向上が地域全体の活性化に繋がることから、事業を継続する。	国 55% 県 30% 地元15%	農地保全課				
R5 (今回)	H25～R7 (+71.4%、5年延 伸)	2,670 (+157.0%、1,631 増)	1,872	70.1%	B/C：2.6 EIRR：20.4%																

(交通基盤部所管事業)

単位(事業費)：百万円

番号	事業主体	事業名	(ふりがな) 箇所名	関係市町	事業概要			再評価理由	前回評価時点からの事業進捗			※1 変更理由等 (全体事業費) (計画期間)	※2 評価の視点		対応方針(案)及び理由		特記事項	担当課			
					評価時期	計画期間	全体事業費		事業費	進捗率	事業の投資効果		事業の必要性	進捗の見込み	対応方針(案)	理由					
						上段：前回又は着手時	上段：前回又は着手時												上段：当初または前回	上段：当初または前回	上段：当初または前回
						下段：今回	下段：今回												下段：今回	下段：今回	下段：今回
5	静岡県	道路改良事業	いっぴんこくどう 一般国道414号静 浦バイパス	沼津市、 伊豆の国 市	H30 (前回)	H6～R9	30,000	再評価実施 (H30)後 5年が経過	16,142	53.8%	B/C：2.6	◎	◎	継続	・近年においても、依然として慢性的な渋滞が発生していることから、早急な対策が求められている。令和5年3月には、優先整備区間が開通するなど、事業は進捗しており、費用対効果も高く、産業や観光の活性化に大きく寄与することから、事業を継続する。	国 50% 県 50%	道路整備課				
R5 (今回)	H6～R19 (+22.7%、10年延 伸)	31,000 (+3.3%、1,000 増)	20,873	67.3%	B/C：2.0 EIRR：5.7%																
6	静岡県	道路改良事業	いっぴんこくどう 一般国道469号御 殿場バイパス	御殿場市	H30 (前回)	H26～R9	2,700	再評価実施 (H30)後 5年が経過	1,277	47.2%	B/C：1.2	◎	◎	継続	・すれ違い困難な狭隘箇所を回避し、安全で円滑な交通を確保するとともに、産業や観光の活性化や災害時の輸送機能確保を図るものである。令和3年4月には、優先整備区間が開通するなど、今後も事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	国 55% 県 45%	道路整備課				
R5 (今回)	H26～R14 (+38.5%、5年延 伸)	3,500 (+29.6%、800増)	2,171	62.0%	B/C：1.1 EIRR：4.5%																

番号	事業主体	事業名	(ふりがな)箇所名	関係市町	事業概要			再評価理由	前回評価時点からの事業進捗			※ 1 変更理由等 (全体事業費) (計画期間)	※2 評価の視点		対応方針(案)及び理由		特記事項	担当課		
					評価時期	計画期間			全体事業費		事業費		進捗率	事業の投資効果	事業の必要性	進捗の見込み			対応方針(案)	理由
						上段：前回又は着手時	下段：今回		上段：前回又は着手時	下段：今回										
						上段：前回又は着手時	下段：今回		上段：前回又は着手時	下段：今回										
7	静岡県	道路改良事業	いっぽんこくどう 一般国道473号大じろかくふく代拡幅	島田市	H30(前回)	H26~R9	3,500	再評価実施(H30)後5年が経過	287	8.2%	B/C: 1.7	—	◎	◎	継続	・近年、近隣の交流拠点が開業するなど、事業の必要性が一層高まっている。事業の投資効果も見込まれ、用地取得が7割に達するなど、今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する。	国 50% 県 50%	道路整備課		
					R5(今回)	H26~R12 (+21.4%、3年延伸)	4,000 (+14.3%、500増)		1,818	45.5%	B/C: 1.5 EIRR: 5.9%									
8	静岡県	道路改良事業	いっぽんけんどう ふじ 一般県道富士停車場伝法線	富士市	H30(前回)	H21~R5	1,915	再評価実施(H30)後5年が経過	333	17.4%	B/C: 4.1	・用地交渉に想定以上の期間を要したため ・材料費等の上昇・道路橋示方書改定に伴う構造変更	◎	◎	継続	・近年、隣接区間の開通や企業立地の進行等により必要性が一層高まっており、さらに事業の投資効果も見込まれ、橋梁工等の工事進捗が順調など、今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する。	国 45% 県 55%	道路整備課		
					R5(今回)	H21~R10 (+33.3%、5年延伸)	2,900 (+51.4%、985増)		1,432	49.3%	B/C: 2.6 EIRR: 9.6%									
9	静岡県	地震・高潮対策事業	まごめ 二級河川馬込川	浜松市	R1(前回)	R1~R9	7,000	事業採択(R1)後5年が経過	—	—	B/C: 9.0 EIRR: 405.1%	—	◎	◎	継続	浜松市沿岸部の防潮堤整備は17.5kmがR2.3月に完了し、水門を含む馬込川河口部400mを残すのみとなっており、背後地には区役所や学校が立地し、津波発生時の被害が甚大であることから、地域から早急な整備完了を求められている。 また、沿岸部の安全確保に合わせて、浜松市が行うビーチコート整備や、隣接する中田島砂丘などの観光資源を含めた沿岸部の利活用促進に向けて地域の期待が高まっていることから、事業を継続する。	国 50% 県 50%	河川海岸整備課		
					R5(今回)	R1~R9 (変更なし)	8,400 (+20%、+1,400増)		2,847	33.9% (+33.9%)	B/C: 6.9 EIRR: 415.2%									
10	静岡県	地震・高潮対策事業	ほつ 二級河川初川 いと 二級河川糸川 あたまわ 二級河川熱海和田川	熱海市	R1(前回)	R1~R20	4,070	事業採択(R1)後5年が経過	—	—	B/C: 1.2	—	◎	◎	継続	本事業は、公表されている静岡県第4次地震被害想定において発生する津波から、地域住民の生命と財産等を守るため津波対策水門を整備するものである。本地域は背後地に資産が集中し、津波発生時の被害が甚大であることから、地域から早急な整備完了を求められている。さらに、事業の投資効果も見込まれ、地元も事業に協力的など、今後の事業の進捗が見込めることから事業を継続する。	国 45% 県 55%	河川海岸整備課		
					R5(今回)	R1~R20 (変更なし)	4,499 (10.5%増)		1,014	22.5% (+22.5%)	B/C: 1.2 EIRR: 2.0%									
11	静岡県	高潮対策事業	ぬまづしふせ 沼津牛臥海岸	沼津市	H30(前回)	H26~R8	3,120	再評価実施(H30)後5年が経過	826	26.5%	B/C: 33.9	—	◎	◎	継続	近年、静岡県第4次地震被害想定公表等により、地域住民の生命と財産や沼津御用邸記念公園等を守るうえで重要な役割を担う海岸保全施設の整備に対する期待はますます大きなものになっている。さらに、事業の投資効果も見込まれ、地元も事業に協力的など、今後の事業の進捗が見込めることから事業を継続する。	国 50% 県 50%	河川海岸整備課		
					R5(今回)	H26~R8 (変更なし)	3,120 (変更なし)		2,264	72.6% (+46.1%)	B/C: 38.3 EIRR: 205.7%									
12	静岡県	高潮対策事業	さがらますき 相良須々木海岸	牧之原市	H30(前回)	H26~R28	9,010	再評価実施(H30)後5年が経過	1,089	12.1%	B/C: 4.3	—	◎	◎	継続	近年、静岡県第4次地震被害想定公表等により、地域住民の生命と財産や主要幹線である国道150号や地頭方小学校等を守るうえで重要な役割を担う海岸保全施設の整備に対する期待はますます大きなものになっている。さらに、事業の投資効果も見込まれ、地元も事業に協力的など、今後の事業の進捗が見込めることから事業を継続する。	国 50% 県 50%	河川海岸整備課		
					R5(今回)	H26~R28 (変更なし)	9,010 (変更なし)		4,367	48.5% (+36.4%)	B/C: 3.7 EIRR: 27.4%									
13	静岡県	高潮対策事業	しづおか 静岡海岸	静岡市	H30(前回)	H26~R14	2,837	再評価実施(H30)後5年が経過	757	24.3%	B/C: 4.3	・物価及び労務費の上昇に伴う全体事業費の増額 ・河川部の津波遡上対策の追加に伴う増	◎	◎	継続	近年、静岡県第4次地震被害想定公表等により、地域住民の生命と財産や主要幹線である国道150号等を守るうえで重要な役割を担う海岸保全施設の整備に対する期待はますます大きなものになっている。さらに、事業の投資効果も見込まれ、地元も事業に協力的など、今後の事業の進捗が見込めることから事業を継続する。	国 50% 県 50%	河川海岸整備課		
					R5(今回)	H26~R14 (変更なし)	3,700 (+30.4%、+863増)		3,067	82.9% (+58.6%)	B/C: 3.9 EIRR: 21.8%									
14	静岡県	河川改修事業	えのおえ 一級河川江尾江川	富士市	R1(前回)	H27~R13	1,974	社会経済情勢の急激な変化等(全体事業費の増加・事業期間の延伸)	158	8.0%	B/C: 3.9	・残土処分費、物価及び労務費の上昇に伴う全体事業費の増額 ・軟弱地盤対策の追加 ・埋設物等の移設補償費の増額	◎	◎	継続	本事業は、河川改修により江尾江川流域の家屋浸水被害を軽減するものである。 当地域では、近年、激甚化・頻発化する豪雨により、必要性が一層高まっており、さらに、事業の投資効果も見込まれ、地元も事業に協力的など、今後の事業の進捗が見込まれることから、事業を継続する。	国 50% 県 50%	河川海岸整備課		
					R5(今回)	H27~R18 (+29%、+5年増)	4,500 (+128%、+2,526増)		485	10.8% (+2.8%)	B/C: 2.6 EIRR: 13.0%									

番号	事業主体	事業名	(ふりがな)箇所名	関係市町	事業概要			再評価理由	前回評価時点からの事業進捗			※1 変更理由等 (全体事業費) (計画期間)	※2 評価の視点		対応方針(案)及び理由		特記事項	担当課		
					評価時期	計画期間			全体事業費		事業費		進捗率	事業の投資効果	事業の必要性	進捗の見込み			対応方針(案)	理由
						上段：前回又は着手時	下段：今回		上段：前回又は着手時	下段：今回										
						上段：前回又は着手時	下段：今回		上段：前回又は着手時	下段：今回										
15	静岡県	河川改修事業	おおい 一級河川大井川	榛原郡 川根本町	R1 (前回)	R1~R30	31,159	-	-	B/C: 2.4	-	◎	◎	継続	本事業は、大井川中流域の治水安全度を向上させ、浸水被害の解消を図るものである。費用対効果も見込まれ、地域の安全・安心に寄与するとともに、地元の期待も大きく協力的であることから、事業を継続する。	国 50% 県 50%	河川海岸整備課			
					R5 (今回)	R1~R30 (変更なし)	31,159 (変更なし)	3,321	10.7% (+10.7%)	B/C: 5.3 EIRR: 24.9%										
16	静岡県	通常砂防事業	上神増沢	磐田市	R1 (当初)	R1~R6	120	-	-	B/C: 20.4	-	◎	◎	継続	・本事業は、土石流による被害を未然に防止するものである。 ・近年、激甚災害が頻発化し、県内でも甚大な土砂災害が発生しており、磐田市においても平成31年度からこれまでに10件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	国 50% 県 50%	砂防課			
					R5 (今回)	R1~R6 (変更なし)	182 (+52%、62増)	152	83.5%	B/C: 11.2 EIRR: 66.4%										
17	静岡県	通常砂防事業	八津奥沢北沢	静岡市	R1 (当初)	R1~R6	200	-	-	B/C: 36.5	-	◎	◎	継続	・本事業は、土石流による被害を未然に防止するものである。 ・近年、激甚災害が頻発化し、県内でも甚大な土砂災害が発生しており、静岡市においても平成31年度からこれまでに69件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	国 50% 県 50%	砂防課			
					R5 (今回)	R1~R10 (+67%、4年延伸)	250 (+25%、50増)	52	20.8%	B/C: 14.9 EIRR: 67.3%										
18	静岡県	通常砂防事業	原東沢	藤枝市	R1 (当初)	R1~R6	137	-	-	B/C: 35.6	-	◎	◎	継続	・本事業は、土石流による被害を未然に防止するものである。 ・近年、激甚災害が頻発化し、県内でも甚大な土砂災害が発生しており、藤枝市においても平成31年度からこれまでに5件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	国 50% 県 50%	砂防課			
					R5 (今回)	R1~R7 (+17%、1年延伸)	140 (+2%、3増)	41	29.2%	B/C: 19.2 EIRR: 92.9%										
19	静岡県	火山砂防事業	洞川	伊豆市	R1 (当初)	R1~R7	301	-	-	B/C: 9.4	-	◎	◎	継続	・本事業は、土石流による被害を未然に防止するものである。 ・近年、激甚災害が頻発化し、県内でも甚大な土砂災害が発生しており、伊豆市においても平成31年度からこれまでに11件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	国 55% 県 45%	砂防課			
					R5 (今回)	R1~R9 (+29%、2年延伸)	500 (+66%、199増)	232	46.4%	B/C: 5.6 EIRR: 33.5%										
20	静岡県	通常砂防事業	西上神沢	浜松市	R1 (当初)	R1~R5	300	-	-	B/C: 2.5	-	◎	◎	継続	・本事業は、土石流による被害を未然に防止するものである。 ・近年、激甚災害が頻発化し、県内でも甚大な土砂災害が発生しており、浜松市においても平成31年度からこれまでに35件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	国 50% 県 50%	砂防課			
					R5 (今回)	R1~R7 (+40%、2年延伸)	300 (変更なし)	242	80.7%	B/C: 2.4 EIRR: 12.4%										
21	静岡県	地すべり対策事業	口坂本	静岡市	H30 (前回)	S63~R5	10,336	9,731	94.1	B/C: 2.2	-	◎	◎	継続	・本事業は、地すべりによる被害を未然に防止するものである。 ・近年、激甚災害が頻発化し、県内でも甚大な土砂災害が発生しており、静岡市においても平成30年からこれまでに78件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	国 50% 県 50%	砂防課			
					R5 (今回)	S63~R10 (+32%、5年延伸)	10,403 (+1%、67増)	10,203	98.1% (+4.0%)	B/C: 1.2 EIRR: 4.7%										
22	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	長岡左近山	伊豆の国市	H30 (前回)	H26~R4	350	219	62.6%	B/C: 11.9	-	◎	◎	継続	・本事業は、急傾斜の崩壊による被害を未然に防止するものである。 ・近年、激甚災害が頻発化し、県内でも甚大な土砂災害が発生しており、伊豆の国市においても平成30年からこれまでに4件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	国 45% 県 45% 市 10%	砂防課			
					R5 (今回)	H26~R6 (+22%、2年延伸)	575 (+64%、225増)	474	82.6%	B/C: 9.2 EIRR: 41.9%										

番号	事業主体	事業名	(ふりがな)箇所名	関係市町	事業概要			再評価理由	前回評価時点からの事業進捗			※1 変更理由等 (全体事業費) (計画期間)	※2 評価の視点		対応方針(案)及び理由		特記事項	担当課
					評価時期	計画期間	全体事業費		事業費	進捗率	事業の投資効果		事業の必要性	進捗の見込み	対応方針(案)	理由		
						上段：前回又は着手時	上段：前回又は着手時											
						下段：今回	下段：今回											
23	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	谷田押切No.4	三島市	R1 (当初)	R1~R7	618	-	-	B/C: 2.3	-	◎	◎	継続	・本事業は、急傾斜の崩壊による被害を未然に防止するものである。 ・近年、激甚災害が頻発化し、県内でも甚大な土砂災害が発生しており、三島市においても平成31年(令和元年)からこれまでに3件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	国 40% 県 50% 市 10% ※評価調書の作成は省略	砂防課	
R5 (今回)	R1~R9 (+29%、2年延伸)	624 (+1%、6増)	180	29.1%	B/C: 5.1 EIRR: 23.7%													
24	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	間門峯山	富士市	R1 (当初)	R1~R7	405	-	-	B/C: 1.8	-	◎	◎	継続	・本事業は、急傾斜の崩壊による被害を未然に防止するものである。 ・近年、激甚災害が頻発化し、県内でも甚大な土砂災害が発生しており、富士市においても平成31年(令和元年)からこれまでに2件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	国 45% 県 45% 市 10% ※評価調書の作成は省略	砂防課	
R5 (今回)	R1~R7 (変更なし)	442 (+9%、37増)	296	67.0%	B/C: 4.9 EIRR: 22.6%													
25	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	四方沢	静岡市	R1 (当初)	R1~R6	248	-	-	B/C: 2.3	-	◎	◎	継続	・本事業は、急傾斜の崩壊による被害を未然に防止するものである。 ・近年、激甚災害が頻発化し、県内でも甚大な土砂災害が発生しており、静岡市においても平成31年(令和元年)からこれまでに69件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	国 40% 県 50% 市 10% ※評価調書の作成は省略	砂防課	
R5 (今回)	R1~R9 (+50%、3年延伸)	248 (変更なし)	127	51.2%	B/C: 7.5 EIRR: 34.8%	・用地取得に不測の日時を要したことに伴い、事業期間をを延伸した。												
26	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	坂本	静岡市	H30 (前回)	H26~R5	600	202	33.6%	B/C: 2.8	-	◎	◎	継続	・本事業は、急傾斜の崩壊による被害を未然に防止するものである。 ・近年、激甚災害が頻発化し、県内でも甚大な土砂災害が発生しており、静岡市においても平成30年からこれまでに78件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	国 45% 県 45% 市 10%	砂防課	
R5 (今回)	H26~R8 (+30%、3年延伸)	665 (+11%、65増)	464	69.8%	B/C: 3.2 EIRR: 14.5%													

※1 「変更理由等」欄は、全体事業費の変動が3割を超える場合、計画期間の変動が5割を超える場合に記入する

※2 「評価の視点」欄は、「継続が妥当」→◎、「見直しにより継続が妥当」→○、「継続は妥当ではない」→×

※3 河川事業の評価は、原則として現在からの経済性を評価する。(治水経済調査マニュアル(案))